

2024年5月14日

「新たな経営理念体系」の制定および長期経営計画「TX PLAN 2030」の策定について

東邦銀行（頭取 佐藤 稔、以下「当行」）は、「新たな経営理念体系」を制定するとともに、2024年4月から2030年3月までの6年間の計画期間とする長期経営計画「^{トランスフォーメーション}TX PLAN 2030」（TOHO TRANSFORMATION(X) PLAN 2030、以下「TX PLAN」）を策定しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 新たな経営理念体系

TX PLAN スタートに際し、地域社会への貢献をこれまで以上に果たしていくために、役職員が同じ価値観を共有し、心ひとつに進むことを目的に、新たな経営理念体系を制定しました。

【経営理念体系】

| | | |
|-----------------------|---|---|
| パーパス（経営理念） | すべてを地域のために | |
| ミッション （サステナビリティ宣言） | ①地域経済・社会の活性化 ②少子高齢化への対応 ③DXの促進 ④多様な人財の躍動 ⑤脱炭素・ネイチャーポジティブ | |
| ビジョン（長期ビジョン） | 地域社会に貢献する会社へ ～金融サービスの枠を超えて～ | |
| バリューズ （行動指針・価値観） | 私たちは、お客さま第一主義に徹し、社会課題の解決を通じ、持続可能な社会の実現に貢献します | |
| | 熱意 （Passion） | 私たちは、地域社会貢献への情熱を何よりも大切にし、ふくしまの成長のために汗を流します |
| | 誠実 （Integrity） | 私たちは、高い倫理観を持ち、誠心誠意お客さまと向き合います |
| | 対話 （Dialogue） | 私たちは、お客さまとの深度ある対話を重視し、共感する姿勢を大切にします |
| | 未来志向 （Visionary） | 私たちは、短期的な目線に偏ることなく、大局をつかみ長期的な目線でお客さまと共に未来を見据えます |
| | 学び挑戦 （Challenge） | 私たちは、自己の成長とお客さまの発展に向け、失敗を恐れず新しいことを学び、挑戦しつづけます |

2. 長期経営計画「TX PLAN 2030」

(1) 計画策定のプロセス

2021年8月に営業店若手行員による「経営戦略タスクフォース」を、2022年1月に本部若手行員による「成長戦略プロジェクト」を結成し、ボトムアップによる意見を取りまとめ、経営陣に対して経営戦略に関する具体的な提言を行ってまいりました。その提言内容をふまえ、2023年1月から取締役会や経営戦略実行委員会において幾度も議論を重ね、TX PLANを策定しました。

(2) 計画名称

「TX PLAN 2030」

(TOHO TRANSFORMATION(X) PLAN 2030)

前中期経営計画「とうほう「^{かがやき}輝」プラン」(以下、輝プラン)では、「地域・お客さまが輝く」「従業員が輝く」「当行が輝く」という3つの基本方針を掲げ各種施策を展開し、当行の成長戦略における「変革のステージ」から、「進化のステージ」・「共創のステージ」へと向かう成長の礎を築くことができました。

輝プランで取組んできた「変革」をさらに進め、当行が「進化」を果たし、地域・お客さまと新たな価値を「共創」していくという3つの決意を「X」として、「TX PLAN 2030」という名称に決めました。

【ロゴマーク】



「X」に込められた3つの意味

変革 TRANS(X)FORMATION

進化 EX(PAN)SION

共創 CROSS(X)

(3) 計画期間

2024年4月～2030年3月(6年間)

(4) 計画策定の考え方

TX PLANは、輝プラン策定時に制定した長期ビジョン「地域社会に貢献する会社へ～金融サービスの枠を超えて～」の実現に向け、SDGsのゴール・福島県総合計画の区切りである2030年までの6年間を計画期間とし、バックキャストिंगの考えのもとで策定しました。

地域社会においては、少子高齢化の進行やデジタル化の進展、脱炭素社会への移行など、さまざまな課題が山積するなか、TX PLANではそれらの課題を解決し、地域と共に成長していくため、重点戦略として10TARGETSを定めました。

- ①人材不足への対応 ②脱炭素促進支援 ③金融コンサルティング(金融仲介機能発揮)
- ④創業・成長・経営支援 ⑤事業性評価・有益情報提供 ⑥キャッシュレス(決済)
- ⑦ライフイベント・サポート(ローン) ⑧資産形成・運用(預かり資産) ⑨相続・信託
- ⑩金融リテラシー向上

「地域・お客さまとの価値共創」という基本方針のもと、10TARGETSの展開を通じて「お客さま1社1社の事業価値向上」、「お客さま一人ひとりのゆたかな暮らしづくり」の2つのゴールを目指してまいります。

(5) 基本方針

①地域・お客さまとの価値共創

地域経済を活性化させる 10TARGETS を展開し、地域の皆さまの企業価値・資産価値を高め、経済を循環させることで地域・お客さまとの価値共創を実現してまいります。

サステナブルファイナンスの拡大を通じて持続可能な地域社会を支え、総合コンサルティングにより産業創出・育成を行い、付加価値の高いサービスを提供することで、お客さまのゆたかな暮らしづくりへ貢献してまいります。

②当行グループの成長戦略

当行グループの企業価値向上を図るための成長投資・人的資本投資に積極的に取り組むとともに、営業体制変革によるコンサルティング力の強化、BPRによる重点分野への人員再配置、アライアンスへの取組み強化によって、当行が掲げる3つの成長ドライバを加速させ、グループ全体での収益を拡大してまいります。

(6) 計数計画

| (連結) | 2023 年度実績 | 2026 年度計画 | 2029 年度計画 |
|--------|-----------|-----------|-----------|
| コア業務純益 | 93 億円 | 115 億円 | 185 億円 |
| 当期純利益 | 52 億円 | 60 億円 | 110 億円 |
| ROE | 2.6% | 3.0% | 5.0% |
| コア OHR | 78.9% | 77.0% | 67.0% |

詳細につきましては、当行ホームページ (<https://www.tohobank.co.jp/assets/company/plan/chouki-2024.pdf>) をご覧ください。

以 上